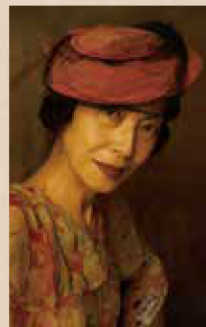


追憶の中でよみがえる家族への思い

アメリカ文学最高峰の不朽の名作が新たに生まれ変わる

『ガラスの動物園』は、劇作家テネシー・ウィリアムズの出世作であり、1945年のブロードウェイでの初演以降、国や時代を超えて愛され続けてきた名作戯曲のひとつです。ノスタルジックで抒情的な“追憶の劇”は、トムが閉塞感を抱えながら家族と過ごした日々や、叶わぬ夢を見続けながらも懸命に生きる家族の姿を浮かび上がらせます。初演から70年以上経つ今もお輝きを放つ名作が、新たに生まれ変わる瞬間にどうぞご期待ください。



岡田将生

倉科カナ

豎山隼太

麻実れい

【トム・ウィングフィールド】 【ローラ・ウィングフィールド】 【ジム・オコナー】 【アマンダ・ウィングフィールド】

作：テネシー・ウィリアムズ 翻訳：小田島雄志 演出：上村聡史
美術：長田佳代子 照明：沢田祐二 音響：加藤 温 衣裳：前田文子 ヘアメイク：川端富生
演出助手：高野 玲 舞台監督：有馬則純
制作：渡辺桃子 アシスタントプロデューサー：佐々木将之 プロデューサー：仁平知世
宣伝美術：榎本太郎 宣伝写真：江森康之
宣伝写真ヘアメイク／CHIIHO (TRON)、長谷川さほ 宣伝写真スタイリスト：森 保夫 ガラス細工：徳坂英樹

STORY

1930年代のアメリカ・セントルイス。ウィングフィールド一家が暮らすアパートの一室。母・アマンダ（麻実れい）は、過去の華やかな日々にしがみつ、子どもたちの将来について現実離れた夢を抱いている。息子のトム（岡田将生）は倉庫での単調な仕事と、ろうるさく指図するアマンダに対して嫌気がさしており、何とかして閉塞感のある日常から抜け出そうと考えている。トムの姉・ローラ（倉科カナ）は、極度に内気で、アマンダに通わされているビジネススクールもうまくいかず、ガラス細工の動物たちが唯一の心の拠り所である。

ある日、アマンダの言いつけで、トムは職場の同僚・ジム（豎山隼太）をローラと出合わせるために夕食に招く。ジムはハイスクール時代にローラが淡い恋心を抱いていた相手だった。ローラは久しぶりにジムと話し、再び彼に心惹かれていく。こうして一家には光が差し込んだかのように思われたのだが――。

2021.12.12(日)～30(木)

2021年	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
12月	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
13:00							休		演										
17:00							休		演										

インターネットでの購入は【東宝ナビザープ】

<https://stage.toho-navi.com/>

【先行抽選エントリー】9月14日(火)～9月17日(金)

【先行先着販売】9月26日(日)10:00より販売開始

※先行抽選および先行先着販売は、東宝ナビザープにご登録(無料)いただきましたお客様がご利用いただけます。

※会員登録をしていないお客様は、10月2日(土)10:00より残席がある場合にお取り扱い致します。

▶東宝公式ホームページからアクセス

東宝演劇 検索

グループ観劇 (6名様以上)

東宝エージェンシー 03-3216-2008

※一般前売に先立ちご予約を承ります。

お電話予約

10月3日(日)より 東宝テレザープ 03-3201-7777

※お電話予約は、一般前売開始日の翌日より残席がある場合にお取り扱い致します。



お取り扱いプレイガイド

10月2日(土)より一般前売開始



プレイガイド セブンチケット



東宝

お問い合わせ：03-3201-7777 東宝テレザープ

一般前売開始 10.2(土)

料金：11,000円(全席指定・税込)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応上、政府や自治体からの特別な要請などの状況により、急遽、公演情報などに変更が生じる場合がございますので、あらかじめご了承ください。※出演者並びにスケジュール変更の際は何卒ご了承くださいませ。出演者変更の場合でも他日への変更・払い戻しはいたしかねます。※未就学児のご入場はご遠慮いただいております。※感染予防のため、出演者の入待ち・出待ちはお断り申し上げます。また、出演者に対してのお祝花や差し入れなどのプレゼントのお預かりはお断り申し上げます。



〒100-0006 千代田区有楽町1-2-1